

別記第7号様式(第15条関係)

平成28年度電源立地地域対策交付金事業評価報告書

平成29年 3月 3日

北海道知事 高橋 はるみ 殿

住 所 豊富町字上カハツ2542番地2
氏 名 豊富町
豊富町長 工藤 栄光

平成28年6月30日付け環エネ第794号指令をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金に係る交付金事業の成果の評価について、北海道電源立地地域対策交付金等交付要綱第15条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	福祉対策措置	豊富町国民健康保険病院運営事業	豊富町	41,829,056	26,419,664	

II. 事業評価個表

H28年度

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	福祉対策措置	豊富町国民健康保険病院運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		豊富町		
交付金事業実施場所		豊富町字豊富東1条8丁目		
交付金事業の概要		医療の確保と医療水準の向上を図る事を目的とし、本交付金を活用して医療職員を雇用し住民の福祉向上を行います。(豊富町国民健康保険病院に係る医療職員14名分の人件費6ヶ月分)		
総事業費		41,829,056	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	26,419,664 26,419,664
交付金事業の成果目標		<p>本町においては、豊富町国民健康保険病院が唯一の医療機関として、一般外来・入院患者の治療・各種検診等を担っており、高齢化社会の急速な展開による高齢人口の増加、慢性疾患を中心とした疾病構造への変化、医療技術の高度化・専門化に伴い、ますます多様化するとともに、地域住民のために欠くことの出来ない医療機関として重要な役割を果たしております。(平成27年度外来患者数14,914人、入院患者数4,077人)</p> <p>医療の高度化、専門化が進む中において、地域住民の医療サービスに対するニーズに対応するためには、医師をはじめ医療従事者の安定的な確保が最も重要な課題であります。</p> <p>現状の豊富町国民健康保険病院運営に必要な看護師人員は、入院患者病棟担当11名、外来担当4名の15名であり、現状人員も15名となっています。このことから、最低限、現状人員の確保が必要であることから、本交付金を活用しながら看護師確保に努め、地域住民の福祉向上を図ります。</p>		
交付金事業の成果指標		<p>過疎地医療を取り巻く情勢は、慢性的な医師不足や看護師不足など不安定な状況にあり、安定的な医療サービスの提供に資するため、平成28年度についても引き続き看護師17名の内、14名分の人件費に本交付金を充当し、企業経営の安定化と地域住民の福祉の向上を図ります。</p>		
交付金事業の成果及び評価		<p>本交付金事業の活用により、平成28年度7月～12月の6ヶ月間において、豊富町国民健康保険病院に係る看護師14名を確保し、地域住民に安定的な医療サービスの提供を図る事ができました。</p> <p>必要人員に対し、充足されている人員が同数であり、医療サービスに対するニーズに応じていくためにも、今後も本交付金事業を活用しながら看護師確保に努め地域住民の福祉向上に繋げていく予定です。</p>		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等		契約の相手方
人件費		雇用		医療職員14名
		計		41,829,056
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H33

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。